

「留学生2,000人のアルバイト実態調査」

vol.2 情報源、仕事内容、勤務時間、時給

- アルバイトを探す際の情報源は「求人情報アプリ」27.9%、「外国人専用の求人情報アプリ」26.9%、「無料の求人情報誌(フリーペーパー)」26.0%などが上位にあがった。幅広い情報源を利用している。(P4)
- 現在のアルバイト勤務先の職種は大きな偏りはなく、幅広い職種に就いている。上位は「ホールス タッフ(飲食店のウェイター、ウェイトレス)」9.5%、「塾講師、家庭教師、語学教師」7.9%、 「ファーストフード店店員」7.8%、「コンビニエンス店員」7.1%など。男女30歳以上で「塾講師、 家庭教師、語学教師」が1割を超える。(P8)
- 勤務時間帯について「よく働く時間帯」と「時々働く時間帯」を聞いた。授業期間は同一の場合 (固定)56.0%の方が、異なる場合(シフト)44.0%よりも多かった。同一の場合は、授業期間では「夕方から夜」が47.7%、長期休暇期間では「日中から夕方」66.9%が多い。 授業期間では「早朝」が21.5%、アルバイトをする留学生の5人に1人は授業前にアルバイトをしているようだ。(P11)

調查概要

調査名	留学生2,000人のアルバイト実態調査
調査目的	日本に留学している学生における、アルバイトの実態及び意識を明らかにする
調査手法	インターネット調査(クロス・マーケティング社モニター利用) 回答言語は日本語719人(36.0%)、英語1,281人(64.1%)
調査期間	2019年3月26日(火)~2019年4月16日(火)
対象者条件	日本国内の教育機関へ通う、外国人留学生 ※日本の大学(大学院を含む)、短期大学、専修学校(専門課程)、準備教育課程及 び日本語教育機関に在籍する外国人留学生
有効回答数	2,000人

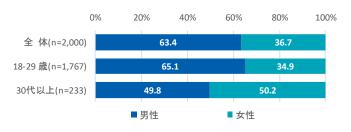
お問い合わせ先

http://jbrc.recruitjobs.co.jp/jbrc/about.html

回答者プロフィール(n=2,000)

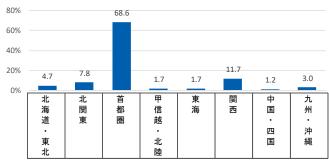
■性年代

全体では男性63.4%、女性36.7%で半数以上が 男性。



■居住地域

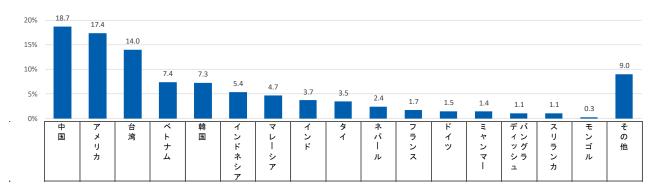
首都圏が68.6%でもっとも多く、次いで関西 11.7%、北関東7.8%となっている。



■出身国・地域

出身国・地域は中国18.7%、アメリカ17.4%、台湾14.0%で全体の5割を占める。日本における留学生全体*よりもアメリカなどの英語圏の割合が多い。

*独立行政法人日本学生支援機構「平成30年度外国人留学生在籍状況調査結果」では、中国38.4%、アメリカ1.0%。以降のプロフィール内容も同参照。https://www.jasso.go.jp/about/statistics/intl_student_e/2018/index.html

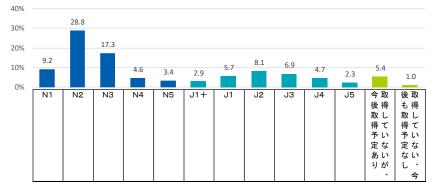


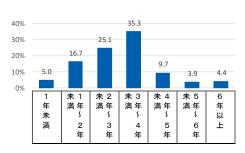
■日本語能力資格(あてはまるものをひとつ回答)

日本語能力検定 *1 (以下N5 $^{\sim}$ N1)とBJTビジネス日本語能力テスト *2 (以下J5 $^{\sim}$ J1+)の保有を聞くと、9割以上が資格取得している。もっとも多かったのは「N2」(日常会話+幅広い場面をある程度)。

■滞在年数

3年~4年未満が35.3%でもっとも多い。留学生のため6年以上などの長期滞在は少ない。





*1国際交流基金と日本国際教育支援協会が運営する日本語能力検定(もっとも難しいレベルがN1) https://www.jlpt.jp/about/levelsummary.html

*2公益財団法人日本漢字能力検定協会が運営するBJTビジネス日本語能力テスト、(もっとも難しいレベルがJ1+) https://www.kanken.or.jp/bjt/about/levelquide.html

※調査結果は小数点第二位を四捨五入のため、TOTALが100%にならない場合がある

回答者プロフィール(n=2,000)

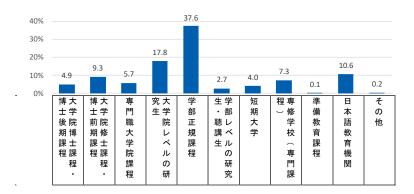
■学校種別・留学タイプ

【私立】私費留学生35.8%がもっとも多 く、次いで【公立】国費留学生19.2%。



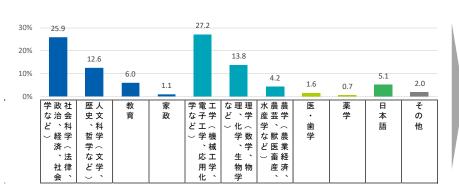
■在籍課程

学部正規課程37.6%がもっとも多く、次いで大学院レベル の研究生17.8%。日本語教育機関(語学学校等)は 10.6%



■専攻分野

日本語(日本語教育機関に留学する学生が選択)、医歯学・薬学を除くと、文系と理系でほぼ同程度の構成となっ た。以降、専攻分野別に調査結果を見る際は右図の区分を使用する。



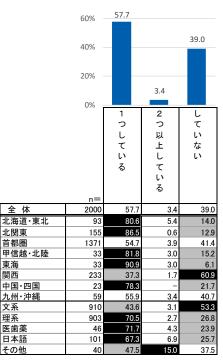


■アルバイト就業状況

調査回答時点におけるアルバイトの就業状況を聞くと、 アルバイトをしているのは全体の6割程度であった。回答 者の地域や専攻分野別にみると、差がみられるが回答 数の少ない地域や専攻分野もあるため、あくまでも本 調査の回答者の状況として捉えることとする。

(参照)独立行政法人日本学生支援機構が実施 する「平成29年度私費外国人留学生生活実態調 査」では全体の7割がアルバイト従事と回答しているが、 回答対象が私費留学生に絞られているため差があると 考えられる。

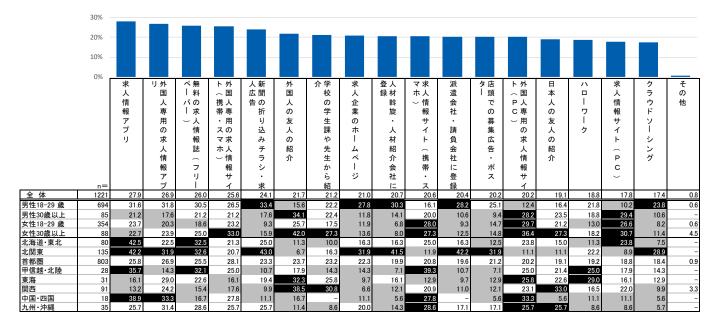
https://www.jasso.go.jp/about/statistics/ry uj chosa/h29.html



3

アルバイトをする留学生1,221人 アルバイト探しで利用した情報源(複数回答)

現在のアルバイトを探した際に利用した情報源を聞いた。全体をみると、情報源の大きな偏りはなく、多岐にわたり情報収集をしていることがわかる。そのなかでも上位にあがるのは「求人情報アプリ」27.9%、「外国人専用の求人情報アプリ」26.9%、「無料の求人情報誌(フリーパーパー)」26.0%など。男性18-29歳は「新聞の折り込みチラシ・求人広告」33.4%や「人材斡旋・人材紹介会社」30.3%のほか「クラウドソーシング」23.8%なども利用が多い傾向にある。

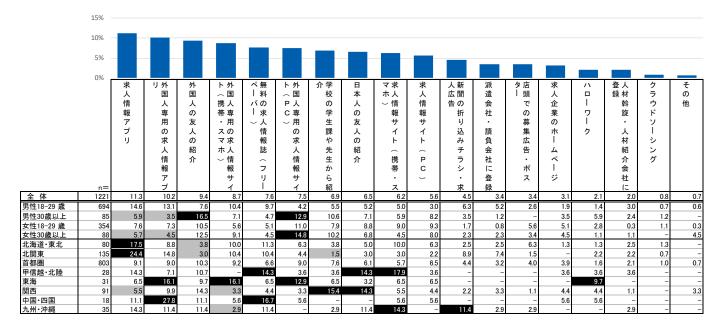


 ${\sf Q}:$ 現在のアルバイト等はどのようにして探しましたか。利用したものについてはあてはまるものをすべてお答えください。(${\sf MA}$)

反転シロヌキ …全体の数値より5ポイント以上大きい 灰色アミカケ …全体の数値より5ポイント以上小さい

アルバイトをする留学生1,221人 アルバイト採用が決定した情報源(単一回答)

現在のアルバイトを探した際に利用し、さらに採用が決定した情報源を聞いた。もっとも多いのは「求人情報アプリ」11.3%、次いで「外国人専用の求人情報アプリ」10.2%、「外国人の友人の紹介」9.4%と続く。性年代別にみると、男性18-29歳は「求人情報アプリ」、男性30歳以上は「外国人の友人の紹介」、女性18-29歳と女性30歳以上は「外国人専用の求人情報サイト(PC)」がそれぞれもっとも多い。利用と同様に、幅広い情報源で採用が決まっている。

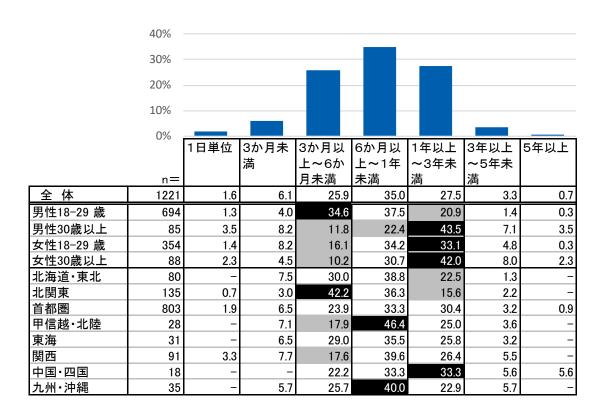


Q:現在のアルバイト等はどのようにして探しましたか。最終的に採用が決まったものについてはあてはまるものをひとつお答えください。 (SA)

反転シロヌキ …全体の数値より5ポイント以上大きい 灰色アミカケ …全体の数値より5ポイント以上小さい

アルバイトをする留学生1,221人 勤続期間

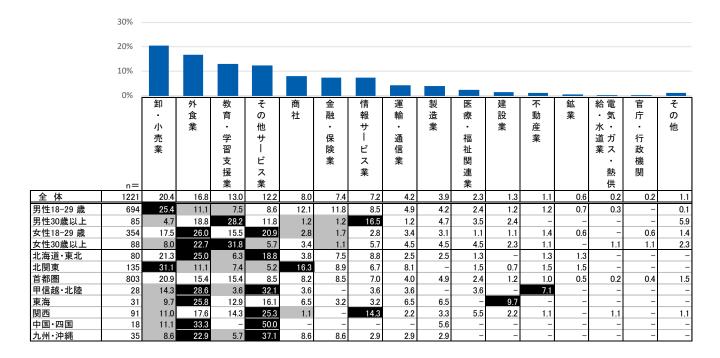
現在のアルバイトの勤続期間は「6か月以上〜1年未満」35.0%がもっとも多く、「1年以上〜3年未満」27.5%、「3か月以上〜6か月未満」25.9%と続く。男性30歳以上、女性は「1年以上〜3年未満」が3〜4割で多い。留学生の滞在期間(参考P2)を踏まえると、3年以上の長期間は少ない。留学生を迎える際は、滞在期間を確認しつつ、どのくらいの勤続を希望しているか確認してもいいだろう。



Q:現在のアルバイト等は、どのくらい続けていますか。(SA)

アルバイトをする留学生1,221人 業種

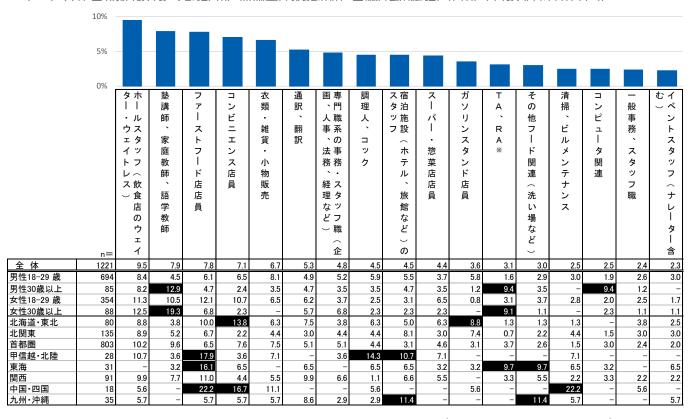
現在のアルバイト勤務先の業種は「卸・小売業」20.4%がもっとも多く、「外食業」16.8%、「教育・学習支援業」13.0%と続く。男性18-29歳は「卸・小売業」、男性30歳以上は「教育・学習支援業」、女性18-29歳は「外食業」、女性30歳以上は「教育・学習支援業」がそれぞれもっとも多い。30歳以上は男女ともに「教育・学習支援業」が多かった。



Q:現在のアルバイト等の業種をお答えください。(SA)

アルバイトをする留学生1,221人 職種

現在のアルバイト勤務先の職種は大きな偏りはなく、幅広い職種に就いていることがわかる。上位は「ホールスタッフ(飲食店のウェイター、ウェイトレス)」「塾講師、家庭教師、語学教師」「ファーストフード店店員」など。男女ともに30歳以上は「塾講師、家庭教師、語学教師」や「TA、RA」が1割弱~2割弱で他職種よりも多い。昨今外国人が活躍するアルバイトとしてコンビニエンフト昌がませたカスストナタいが、地域美はカスストカスの、実際はスの映画に集中しているわせではないようだ



%TA: Teaching assistant RA: Research assistant

	10%																
	5%																
		コンダクターなど)(遊園地、カラオケ、ツアーその他レジャー・遊戯関連	新聞配達	ど) ドライバー(貨物、宅配な	リバリー、バ	ザーサポート含む)コールセンター・テレマーケ	場作業(土木	通信、機械関連など) 林水産、食品、電気、電子、研究、技術開発職(化学、農	倉庫整理、荷分け	引っ越し業	組立・加工作業(工場)	手、医療事務など) 医療関連(看護助手、歯科助	食品製造・加工(工場)	業、林業、漁業作業農耕作業、造園職、養畜作	パーなど) 設、訪問介護、ホームヘル 介護スタッフ(医療・福祉施	警備員	その他
全 体	n= 1221	1.9	1.9	1.9	1.9	1.3	1.2	1.2	1.1	1.0	1.0	0.9	0.8	0.5	0.4	0.2	0.8
男性18-29 歳	694	2.0	2.7	2.3	1.9	1.7	1.7	1.3	1.3	1.6	1.3	0.9	0.6	0.4	0.1	0.4	0.3
男性30歳以上	85	3.5	-	1.2	1.2	1.2	-	2.4	1.2	-	1.2	2.4	1.2	2.4	1.2	-	4.7
女性18-29 歳	354	0.8	0.8	1.1	1.4	0.8	0.8	0.6	0.8	0.3	0.3	0.6	0.6	_	0.6	_	0.6
女性30歳以上	88	3.4	1.1	2.3	4.5	-	-	2.3	1.1	-	1.1	1.1	3.4	1.1	1.1	-	2.3
北海道·東北	80	2.5	1.3	-	1.3	1.3	1.3	-	-	-	1.3	-	1.3	-	-	-	-
北関東	135	1.5	4.4	3.0	2.2	3.7	3.0	0.7	3.0	2.2	1.5	_	_	0.7	-	0.7	0.7
首都圏	803	2.0	1.5	2.1	1.9	1.0	1.0	1.6	1.2	0.7	0.7	1.0	0.9	0.6	0.4	0.2	1.1
甲信越·北陸	28	3.6	7.1	_	_	_	3.6	_	-	_	_	_	_	-	_	_	_
東海	31	_	-	3.2	-	3.2	3.2	_	-	_	_	_	3.2	-	_	_	_
関西	91	-	1.1	_	3.3	1.1	_	1.1	-	-	1.1	3.3	_	_	2.2	_	_
中国•四国	18	-	-	_	-	-	_	-	-	5.6	-	-	-	-	-	-	-
九州•沖縄	35	5.7	2.9	2.9	2.9	-	_	-	_	5.7	5.7	_	2.9	_	_	_	_

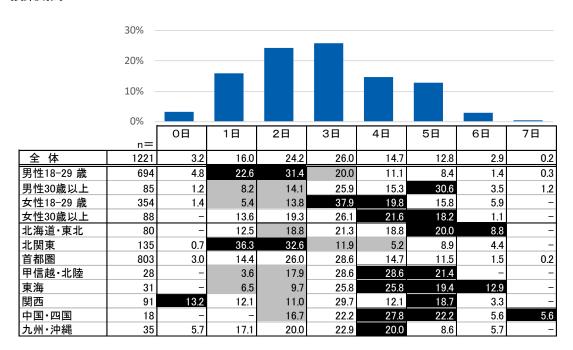
Q:現在のアルバイト等の職種をお答えください。(SA)

アルバイトをする留学生1,221人 勤務日数(1週あたり)

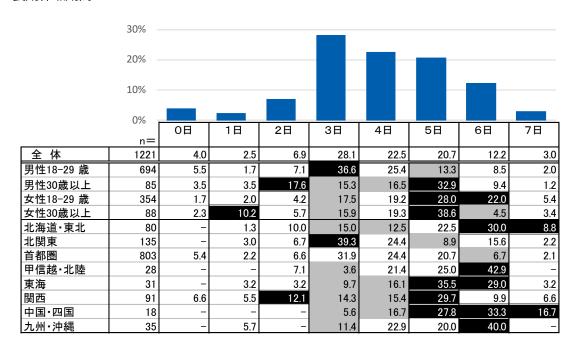
現在のアルバイトでの勤務日数を授業期間、長期休暇期間に分けて聞いた*。授業期間は「2日」「3日」が2割台で多く、「1日」も2割弱いる。長期休暇期間になると「3日」「4日」「5日」が2割台で多く、「6日」も1割を超えている。長期休暇期間になると、授業期間よりも多く働いていることがうかがえる。

*留学生の勤務は原則週28時間以内だが、学則で決められた長期休暇期間は1日8時間、週40時間が上限になる。(参考:厚生労働省「外国人雇用はルールを守って適正に」平成31年4月版、 https://www.mhlw.go.jp/content/000515316.pdf)

■授業期間



■長期休暇期間

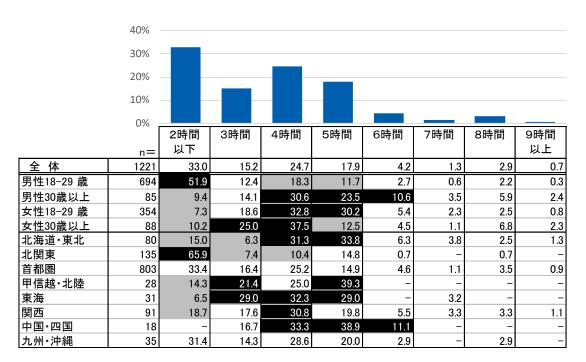


Q:現在のアルバイト等は1週間に何日くらい働いていますか。授業がある期間と夏休みなどの長期休暇期間でそれぞれに ついてお答えください。

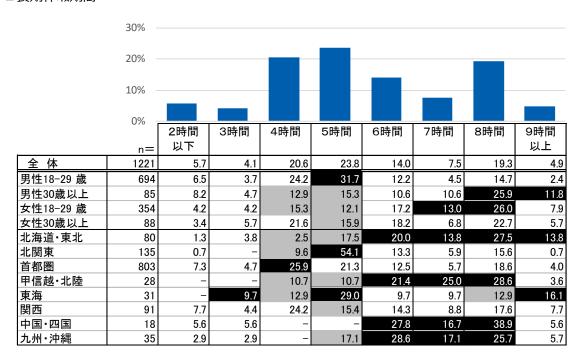
アルバイトをする留学生1,221人 勤務時間(1日あたり)

現在のアルバイトでの勤務時間を授業期間、長期休暇期間に分けて聞いた。授業期間は「2時間以下」33.0%がもっとも多く、次いで「4時間」24.7%、「5時間」17.9%となった。長期休暇期間は「5時間」23.8%がもっとも多く、次いで「4時間」20.6%、「8時間」19.3%。長期休暇期間になると、「8時間」が増え、男性18-29歳以外は2割以上が回答している。地域でみると首都圏よりも、北海道・東北、甲信越・北陸、中国・四国、九州・沖縄などで「6時間」以上など比較的長めの傾向がみられる。

■授業期間



■長期休暇期間

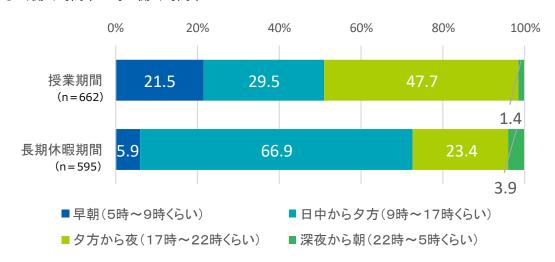


Q:現在のアルバイト等は1日に何時間くらい働いていますか。授業がある期間と夏休みなどの長期休暇期間でそれぞれに ついてお答えください。

アルバイトをする留学生1,221人 勤務時間帯

- 勤務時間帯について「よく働く時間帯」と「時々働く時間帯」を聞いた。一般的に同一の場合(上図)は勤務日数・時間が固定で、異なる場合(下図)は勤務日数・時間が都度調整できるシフト制である。授業期間をみると、同一の場合の方が56.0%(n=662)が異なる場合44.0%(n=520)よりも多いが、長期休暇期間になると同一の場合50.8%(n=595)と異なる場合49.2%(n=577)でほぼ同程度になる。
- 同一の場合(固定)、授業期間では「夕方から夜」が47.7%で多いが、長期休暇期間になると「日中から夕方」66.9%が多くなる。授業期間では「早朝」21.5%が「深夜~朝」1.4%よりも大幅に多い。
- 異なる場合(シフト制) 、よく働く時間帯についてみると、授業期間は「早朝」「日中から夕方」「夕方から夜」が3割台で同程度。長期休暇期間は「日中から夕方」が54.2%となり半数を超える。
- 留学生の特徴として、固定もシフト制の場合も、授業期間は「日中から夕方」や「早朝」が2~3割程度で比較的多いことがあげられる。勤務時間が限られるため、講義前後や合間の時間などを上手に活用していそうだ。長期休暇期間になると「日中から夕方」が半数以上で多くなるのは日本人学生と同じであろう。

■よく働く時間帯=時々働く時間帯



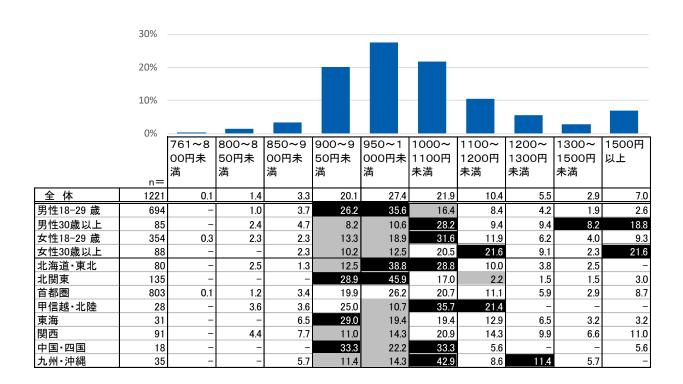
■よく働く時間帯≠時々働く時間帯

よく働く時間帯 0% 20% 40% 60% 80% 100% 授業期間 31.5 34.2 30.6 (n = 520)3.7 長期休暇期間 8.0 54.2 31.7 (n = 577)6.1 ■早朝(5時~9時くらい) ■日中から夕方(9時~17時くらい) ■ 夕方から夜(17時~22時くらい) ■ 深夜から朝(22時~5時くらい)

Q:現在のアルバイト等はどの時間帯で働いていますか。よく働く時間帯と時々働く時間帯についてお答えください。授業がある期間と夏休みなどの長期休暇期間でそれぞれについてお答えください。

アルバイトをする留学生1,221人 時給

現在のアルバイト勤務先での時給は「950~1000円未満」27.4%がもっとも多く、次いで「1000~1100円未満」21.9%、「900~950円未満」20.1%と続く。男女30歳以上の「1500円以上」が2割前後で多いのは、業種(P7)、職種(P8)でみた通り、教育関連で塾講師や語学教師などが多いことが影響していそうだ。



Q:現在のアルバイト等の時給はいくらですか。(SA)